

学生担当者報12

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 茶谷良佐 編集責任者 / 辻 雄二郎

Vol.406
立教183年
2020年
11月25日発行

TEL 0743-63-1511(内線5817), 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

お知らせ

十二月例会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。
※教区・直属委員長面談(12月11日・25日)は、実施いたしません。

報告

十月例会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため「十月例会」は中止といたしました。
※去る10月25日、第8・9母屋において「直属委員長面談」を実施いたしました。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
岐阜 10月30日 教務支庁 38名
中山祥吉委員出向

人事

《立教183年3月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・平澤永弘 (生野・生野町)
・井上市蔵 (岐美・北濃)
・森内聖也 (城山・田面木)
・齊藤 一 (沼津・南葛飾)

《立教183年4月25日付》
【教区学生担当委員長辞令交付】
・村上清太郎 (新潟)

【直属学生担当委員長辞令交付】
・鈴木さち (琵琶・琵琶千代)

《立教183年6月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・福井教之 (雨龍・天塩)

《立教183年8月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・内田利孝 (佐野原・鶴見)

《立教183年9月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・牛尾利道 (飾東・辻川)
・橋本旬治 (肥長・鶴港)
・佐藤幸一郎 (本愛・本築)

《立教183年10月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・長田勇生 (山名・中泉)
・渡辺善成 (幅下・天治)
・深谷弘和 (やまとよふき)

《立教183年10月16日～11月15日》
10月16日 学生連絡会

業務記録

《立教183年10月16日～11月15日》
10月16日 学生連絡会

18日 春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議

19日 事務局連絡会
担当者報チーム会議

24日 担当者活動部部会
編集部部会
学修部部会

25日 委員会
直属委員長面談

27日 まなびばチーム会議
30日 勉強会チーム会議

11月8日 部員・本部スタッフ研修会
9日 人材育成部部会
10日 担当者活動部部会
12日 学修部部会
委員会
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議

13日 直属委員長面談
Joyous Style研究会会議
勉強会チーム会議
編集部部会

<年賀状について>
例年、教区・直属担当委員長宛てに送付していましたが、教務見直しにより、来年より廃止とさせていただきます。何卒ご了承ください。
学生担当委員会事務局

「学生目線で頑張っています」



新しく生まれ変わったWeb(Happist)は、

もうご覧いただけましたでしょうか？
立教百八十二年四月一日よりウェブサイトを再出発した(Happist)ですが、このたび、内容を大幅に見直し、十月二十五日にリニューアルさせていただきました。

これまで約一年半の間、Web(Happist)の運営に携わらせていただき、ひと口に(Happist)のWeb化と言っても、学生に選んで読んでもらえるコンテンツにするためには、さまざまな工夫と努力が必要だということが分かりました。

まず第一に、記事を更新する頻度が重要です。常に記事を更新し、新しい情報を提供するウェブサイトでないと、

すぐに飽きられ、埋没してしまうことになりまます。ですから、行事的でない今は必死です。また、読者の関心を引けるかどうかは、その記事のタイトルのインパクトや見た目によって大きく左右されますので、画像やイラスト、ロゴを駆使して、見る人の注意を引く努力が必要です。さらに、スマホで閲覧することの多い学生は、文字数の多過ぎる記事を好みません。一気に読める文字数に抑えることはもちろん、レイアウトやイメージ画像や挿絵にも工夫が必要です。

このように、紙媒体とは異なる部分がたくさんあり、以前のやり方をそのまま当てはめることができませんので、試行錯誤の連続ですが、何とか一人で多くの学生にお道につながってほしい、教えに触れてもらいたい、思いで、五人のおじさん(委員)と二

編集部 部長

清水 慶政

人の若い局員が相談に相談を重ね、学生目線で必死に頑張っています。また、この度、茶谷委員長の熱い思いを受けて、学生に手渡しできるリリース「HAPPYST「NOT」NET」を発行することになりました。学生の丹精には、まずは学生とのコミュニケーションを図ることが肝心だと思います。願わくば、Web(Happist)や「HAPPYST「NOT」NET」が、学生と担当者の先生方をつなぐコミュニケーションの一助となることを期待しています。今後ともWeb(Happist)の活用をよろしくお願いたします。

令和2年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

「立教184年 春の学生おぢばがえり」 開催要項

日頃は学生の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

来春の「春の学生おぢばがえり」は、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑みて、例年通りの開催は見合わせることになりました。式典や前夜祭などは、数千人が一堂に会し、また参加には公共交通機関の利用や宿泊を伴うためです。従いまして、下記の要項の通り、団体ごとのおぢばがえり団参とオンラインによる行事とさせていただきます。

これまでとは全く違う開催形態となりますが、道に繋がる学生が「春の学生おぢばがえり」を迎えられたことを親神様・教祖に感謝し、節に込められたをやの思いを思案させていただきたいと存じますので、先生方にはご理解、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

【趣 旨】 一人でも多くの学生が仲間と共におぢばに帰り集い、おぢばで聞かせていただくことを心に治め、日々の生活を通る上での方針とする。また、生かされていることへの感謝の気持ちと、つながりの大切さを知る。さらに、をやの思いを求め、共に時代を担うようほくへと成人していくことを誓い合う場とする。

【スローガン】 次代を担うようほくへ

【参加対象】 高校生（新1年生を含む）、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生等

【内 容】 ◆「道の学生おぢばがえり団参」
◆「道の学生オンラインの集い」
※右ページをご覧ください。

十一月例会 委員長挨拶に代えて

本日、「立教百八十四年 春の学生おぢばがえり」の開催要項を配布いたしました。道の学生おぢばがえり団参」と「道の学生オンラインの集い」を企画するにあたり、春の学生おぢばがえり実行委員会の学生たちと何度も話し合いを重ね、そして教会本部、各機関にも相談し、承認を得てまいりました。学生との話し合いでは、今回の開催に向けて大きく三つの目的が挙がりました。一点目は、おぢばがえりの大切さを感じてほしいということ、二点目は、道の学生として成人するために式典でお話を頂きたいということ、三点目が、おぢばで道の学生とつながりたいということです。

「道の学生おぢばがえり団参」については、新型コロナウイルス発生以降おぢばがえりができていない学生は多いと思います。そういう機会をあえて計画することによって帰参できる学生は限られるでしょうけれども、ぜひともおぢばがえりの後押しになるよう教区・直属で企画していただければと考えています。「道の学生オンラインの集い」については、オンラインの利点としてこの地域にいても

おぢばに心をつなげられるということ。そして、ただ今の状況の中で、おぢばから話を聞かせてもらえるということは、これからの歩みにどれだけ心強いことかと思えます。また、オンラインを通して道の仲間に見えることは、学生会活動にさらなる拍車が掛かる勇みの種になると信じます。

以上のようなことから、これまでとは全く違う開催形態となりますが、先につながる活動になるよう、先生方には、何卒ご理解を賜り、ご協力をお願い申し上げます。

委員長 茶谷 良佐

追記 まだまだ詰めなければならぬ事柄が多々ありますが、来月の例会資料にて「立教百八十四年 春の学生おぢばがえり」についての詳細と団参計画書を配布いたしますので、何卒ご容赦ください。

また「春の学生おぢばがえり」のポスターとチラシを作成することとなりました。ポスターはA3サイズで教区を通じて各教会に一枚配布いたします。なお、チラシはB5サイズ一部五円での販売となります。どちらも十二月二十五日からとなります。よろしくお願いたします。

Web「Happist」12月更新予告 URL:https://happist.net

※内容は一部変更になる場合があります。

- ・逸話篇にまなぼう 清水 慶政 (兵神大教会長)
- ・ちょっとだけいい話 山田 かおり (ひとすじ寮 幹事)
- 青木 啓一郎 (学生担当委員会 部員)

学生に手渡しできるリーフレット

ハッピースト ノット ネット

HAPPIST [NOT] NET No.2

11月の例会資料としてお配りしています。
追加のご希望は学生担当委員会事務局まで!



大学卒業生の集い
Joyous Style

募集要項

- ▽ 期 間 ……第1回:令和3年3月1日(月)～3月3日(水)
第2回:令和3年3月5日(金)～3月7日(日)
第3回:令和3年3月9日(火)～3月11日(木)
※コロナウイルスの感染状況によっては開催中止の可能性もあります。
※本部宿舎での合宿となります。
- ▽ 受講対象 ……①令和2年度大学・大学院・短期大学・専門学校卒業予定者
②全期間(2泊3日)を通して受講できる者※複数回の受講はできません
- ▽ 募集人員 ……各回40名 計120名
※受講希望の日程に添えない場合もございます。ご了承ください。
- ▽ 内 容 ……講話、グループワーク、お楽しみ行事など
- ▽ 集 合 ……各回の初日 午前9時～9時30分
・後日発送される「受付票」に、記載されている宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 ……各回の最終日 午後2時頃(予定)
- ▽ 受講御供 ……5,000円 参加当日に受付にて納めてください。
そのほか交通費などは別途必要になります。

申し込み

- ▽ 申込方法 ……以下の書類を調べ、直属担当委員長の署名・捺印の後、
学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書1通(参加にあたっては、必ず保護者の同意を得てください)
・返信用封筒1枚(本人氏名、住所、郵便番号を記入し、84円切手を貼付ください)
- ▽ 申込期間 ……令和3年1月5日～令和3年1月31日
定員になり次第締め切らせていただきます。
※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月8日以降、随時本人宛てに郵送いたします。なお、受講いただく日程も同封いたします。必ず確認してください。
※本人の意志を確認の上、お申し込みください。
※受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。
Web siteでも願書のダウンロード、必要事項の確認ができます。 <https://happist.net>

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
[郵便]〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
[電話] 0743-63-2489 (学生担当委員会事務局直通) / [FAX] 0743-62-5780

大学卒業生の集い Joyous Style 補足説明

＜開催主旨＞
卒業生がそれぞれの道へと進むこの時期に、おちばで教えを学び、「陽気ぐらしへの歩み」について考えることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。卒業後、どのような環境においても、おちば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう促す機会にしたい。

＜テーマ＞
陽気ぐらしへ向かって ～私とおたすけ～

＜プログラム＞
それぞれの新天地において、今よりも少しでも陽気ぐらしの実践をしてもらえるようテーマに沿ったプログラム構成を検討しています。

内容としては、「朝夕のおつとめ参拝」や、朝づとめ前の「教祖のお出まし参拝」をはじめ、簡単なエクササイズを利用した「グループタイム」や「講話」（「陽気ぐらし」「教祖」「陽気ぐらしの実践」3本の講話を予定）、また、お楽しみ的な要素を含めたプログラムなど、誰でも参加していただける、やさしい内容を目指していますので、広くお声掛けいただければ幸いです。

- ＜感染症対策＞
対応策としては、以下のことを検討中です。
- ・「宿舎」は本部第38母屋とし、宿泊は「一人一部屋」で就寝。
 - ・「食事・入浴」はすべて38母屋とし、時間差および適度な距離を保つ。
 - ・「各班の学生の人数」は5～6人。
 - ・「グループタイム」は部屋の換気を頻繁に行い、フェイスシールドを着用し、各部屋にはアルコール消毒液を常備。
 - ・日中は基本的に、「マスクを必ず着用」。
 - ・「手洗い、うがい」の徹底。
 - ・「密集」を避ける工夫。(例：受付は一定の距離をとって並ばせる。玄関では密集しないよう、対策をとる。講堂や参拝場は一人一畳で一畳空けて座るなど対策を講じる。)
 - ・期間中はお茶のペットボトルを配付するなど、コップをはじめ色々な物品を不特定多数が共有しないよう配慮。
 - ・随時、部屋や手すり、物品などの消毒を行う。
 - ・「受付」の際に検温を行う。
 - ・「救護」は、看護師2名を宿舎に常駐予定。

以上のように万全の対策を講じ、開催させていただく予定ですので、どうぞご承知置きくださいますようお願い申し上げます。

尚、後日「感染予防対応」についてのガイドラインを、担当委員長及び受講生へ郵送させていただきます。

何か不明な点、質問などあれば、学生担当委員会事務局までご連絡ください。

【内 容】

◆「道の学生おぢばがえり団参」

- 〈ねらい〉それぞれの一年間のお礼を申し上げ、おぢばがえりができる喜びを味わう。そして、
 〈ねらい〉その喜びを持って3月28日の「道の学生オンラインの集い」に臨む。
 〈期 間〉立教184年（令和3年）3月1日～25日（帰参報告10時～15時）
 ※大勢が特定の日に集中しないように上記期間を設けます。この期間内での団参をご検討
 ください。ただし、日程によっては個別に相談させていただく場合もございます。

〈内 容〉

- ・教区、直属ごとのおぢばがえり団参を推奨します。
- ・立教184年3月1日～25日の内、都合の良い日程で団参を行ってください。
- ・団体が大勢の場合など、都合によっては複数の日程に分かれての団参をお願いします。
- ・学生担当委員会12月例会資料にて詳細資料を配布します。また、合わせて団参計画書を配布しますので、事前にご提出ください。
- ・団参当日は、春の学生おぢばがえり事務所（例年と同じく旧本部詰所）を設置しますので、帰参報告を行ってください。その際、団参された学生全員にお越しいただき、記念撮影や実行委員会が用意するおみやげをお渡しします。また、事前に希望された団体には、実行委員会による神殿案内をいたしますのでご活用ください。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じての計画をお願いいたします。
 ※春の学生おぢばがえり事務所は、団参計画書に基づく団参日のみ設置いたします。

◆「道の学生オンラインの集い」

- 〈ねらい〉オンラインによって道に繋がる学生がおぢばに心を繋ぎ、世界にいる兄弟姉妹の存在を感じる。そして式典で頂くお話を心に治め、いつかおぢばに帰ることを誓い合う場とする。

〈期 間〉立教184年（令和3年）3月28日（日）

〈内 容〉○10：30～「春まつり」

○11：00～「式典」（約1時間）

○式典後～ お願いづとめ、「団体アワー」（いずれも団体ごと）

- ・「春まつり」及び「式典」は、オンラインによる動画配信を行います。可能であれば、団体ごとに教会や教務支庁等へ集まってご参加ください。その際は、新しい生活様式に則って感染防止対策を講じてください。
- ・「式典」後に、新型コロナウイルス感染症の終息を願って「お願いづとめ」をつとめますので、団体ごとにおつとめください。
- ・「団体アワー」は式典の振り返りや親睦行事を行っていただきます。ただし、団体により様々な都合があるかと思しますので、「団体アワー」を実施するか否かの判断は、各団体にお任せします。プログラムについては後日参考例を配布いたしますのでご活用ください。また、「春まつり」及び「式典」を自宅から参加するよう促される場合は、Zoomミーティング等を利用した「団体アワー」もご検討ください。
- ・配信方法や内容の詳細は、今後の学生担当委員会例会にて、随時ご案内いたします。

秋期直属学生リーダー講習会 開催報告

天理教学生会では、十月二十五日に「立教百八十三年 秋期直属学生リーダー講習会」をオンライン（Zoomミーティング）にて開催し、直属十七団体十九名、学生スタッフ十六名、合わせて三十五名の学生が参加しました。オンラインというこれまでとは違った形式の行事に戸惑いが見受けられる学生もいましたが、自己紹介やレクリエーションを通して徐々に慣れていった様子でした。

今回の講習会では、はじめに教会の大切さについて考えました。「教会紹介シート」に基づいて行った、所属教会を班員に紹介するプログラムでは、それぞれが所属する教会の特徴や魅力などを伝えるとともに、自身にとっての教会との関わりについて改めて考える機会となりました。

次に学生たちは、学生会活動について話し合いました。普段それぞれが感じている学生会に対するイメージの共有や、これまで各学生会が行ってきた活動の紹介を行いました。

その後、新型コロナウイルス感染症が流行しているさなかでの教会へのつながり方や学生同士のつながり方、オンラインで可能な学生会活動について話し合いを重ねました。

参加した学生たちは、今回の講習会を通して教会につながる大切さや直属学生会の活動の意義を再確認し、今後の活動を充実させていく上での糧となる時間を過ごしました。また、それぞれが感じたことを基に今後の活動の目標を立て、実践を誓い合いました。

青 空

私は大分教区担当委員長を務めてから、直属担当委員長をさせていただいていました。まずは、一人でも多くの学生におぢばへ帰ってもらいたいと思い、春の学生おぢばがえりでは、部活動をしている学生を中心に船中二泊の日帰り参加から、少しずつ活動を展開していきました。育成する側の人材もお道から遠ざかっている後継者に声を掛け、おぢばの講習会を通じて育てていただき輪を広げたいきました。

その中で、私の次男は二十二歳で教会長に就任し、今年十月で三年がたちました。学生の期間は、丹精させてもらう立場にあり、現在は、育てる役目へと変わり、人を育てる苦労、工夫を一つ一つ教え、考えさせ、教祖のようばくとして成人させてもらい、育成する側の喜びを伝えていきます。私自身は、今、丹精する側の人材を丹精するには、より困難な状況の中でもそれ以上の苦労、工夫をしている姿、役目の喜びを伝えなければと、動かせていただいています。

宇佐大教会学生担当委員会前委員長 安部慶郎